

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°47 ドメーヌ・エリザベス

生産地方：コニャック

新着ジュース2種類♪

ジュ・ド・レザン・ガゼイフィエ 2016 (白)

2016年の白は、雹と日照りの影響で全体的に50%減。ブリュノ曰く、9月7日の水不足後に降った雨によりブドウの成熟スピードが急激に上がったためリンゴ酸が例年よりも落ちてしまったとのこと。味わいは前年よりもボリュームを感じる！軽快に弾ける泡と融合した粘着性のあるネクターのような甘みがとても心地よい！糖度は173 g/Lあり潜在アルコール度数で換算すると10.2%。

ジュ・ド・レザン・ガゼイフィエ 2016 (赤)

2016年の赤は、白同様に雹と日照りの影響で収量が50%減。特にメルローは一部が完全に雹に当たったため、例年と比べてアッサンブラージュの比率は相対的に10%減っている pHの値もリンゴ酸が少ないため3.57と前年よりも値が0.1ほど高い。ただジュースとしてはイチゴジャムやルバーブなど果実の香りが華やかで、口の中でガスと優しく溶け合うふくよかな甘さに思わず笑顔がこぼれてしまう！糖度は184 g/L、潜在アルコール度数で換算すると10.8%。

ミレジム情報 当主ブリュノ・アリヴェのコメント

2016年は、コニャック地方の約5000 haが雹の被害、そして、夏の日照りに遭ったとても厳しい年だった。私のドメーヌは、幸い雹はユニブランとメルローの一部が当たっただけで被害はそれほど大きくなかったが、他の区域はほぼ100%壊滅だったところも沢山あった。冬はスタートから暖冬で、ブドウの萌芽も3週間ほど早かった。春もそのまま暖かい天気が続き、4月終わりにブルゴーニュやロワールが大規模な霜の被害に遭う中、ここシャラント地方は何事もなく順調にブドウが育っていった。5月28日に大規模な雹が降り、その後は9月までほとんど雨が降らなかった。8月は日中の気温が38度を超す猛暑が数日続き、ブドウの成長も完全にストップした。幸い、9月7日に50mmのまとまった雨が降ったおかげでブドウは息を吹き返したが、すでに暑さの影響でブドウの房が落ちたものや、実が大きくなならないものもあり、最終的に例年の半分の収量しか取れなかった。

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き



写真① エリザベスのシャトー

ヴァンクүүлの中でも、エリザベスはナチュラルなスパークリングジュースの作り手として定着しつつあるが、でも、忘れてはいけない！エリザベスはジュース専門の造り手ではなく、メインはコニャックでありワインである！（写真①）コニャックに至っては、毎年ロシアで行われるコンペティションで、ヘネシーやレミーマルタンなど名だたるメーカーを抑えて1位になるなど、とても質の高いモノを作っている！一方のワインにおいては、本人は長年ビオで頑張っているが…残念ながら正直どこか平凡でインパクトに欠ける印象がある。スターターに入れる酵母がいけないのか、はたまたSO₂なのかフィルターなのか、きれいではあるが個性がない…。

毎年訪問する際には必ずその年のワインを試飲するのだが、今回ブリュノが「ワインのインポーターなのになぜ私のワインに興味がないのか？」と聞いてきたので、ちょうどその前に

訪問したドゥーテールのヴァン・ニュ白とメルローのサンプルを試飲させ、「ヴァンクүүлはこういうワインを求めている」と彼に説明した。ヴァンナチュールに懐疑的な彼がどのような反応をするか多少興味があったが、意外にも彼はドゥーテールのワインを評価し興味を示した！「ヴァンナチュールはどれもワインの体をなしていなく『こんなモノはワインではない』と思っていたが、SO₂無添加のワインで初めてこんな美味しいワインを飲んだかもしれない」と素直に認めた！

それ以降は、その開いたワインを飲みつつ彼とヴァンナチュール談議に沸いたが、ふと彼が「これを飲んでほしい」とワインを探しに行った。そして、持ってきたのはフラスコに入った濁りのある白ワインだった。香りを嗅いでみると見事にド還元で、酸が鋭く薄い味わいではあったが、でも今までの彼のワインに比べると、飲み口がとにかく良くどこか憎めないキャラクターがあった。彼に尋ねると、飲ませてくれたのはコニャックとして蒸留する前のコロンバールのワインだった！アルコール度は8度しかなく、SO₂もフィルターも全くなし！ブドウをプレスしてただ自然発酵させたワインだった。「自分にとってはワインとして味わいは全く問題がないが、この濁りのある見た目そして還元臭がどうしてもまだ欠点に思えてしまう」と言う彼だが、私自身は、正直彼の通常のワインよりもよっぽどこのコロンバールの方に心が惹かれてしまう。

彼とは以降夜まで話が盛り上がり、結局2人で2本空けてしまったが、ドゥーテールのワインのお蔭で、彼と初めてワイン談義ができた！今後は色々なヴァンナチュールを飲んでみると意欲を見せたブリュノ！これから彼がどう変化していくのか、とても楽しみだ！

(2016.1.4.のドメーヌ突撃訪問より)